

九谷赤絵の
極致

中国の赤絵と比較して

魅力 九谷赤絵の

記念講演会



2024.
9.14 [土]

赤絵の技法は、中国の宋赤絵を起源とし、江戸時代に日本に伝わりました。九谷焼においては、江戸時代前期の古九谷を経て、江戸時代後期に現在の石川県加賀市で開窯した再興九谷の宮本屋窯（1832～59）において大成しました。本講演会では、九谷赤絵に大きな影響を与えた中国赤絵にも触れながら、独自の発展を遂げた九谷赤絵の魅力についてお話いただきます。

日時 | 9月14日(土) 13:30～15:00 (開場は13:00)

会場 | 兵庫陶芸美術館研修棟1階 セミナー室

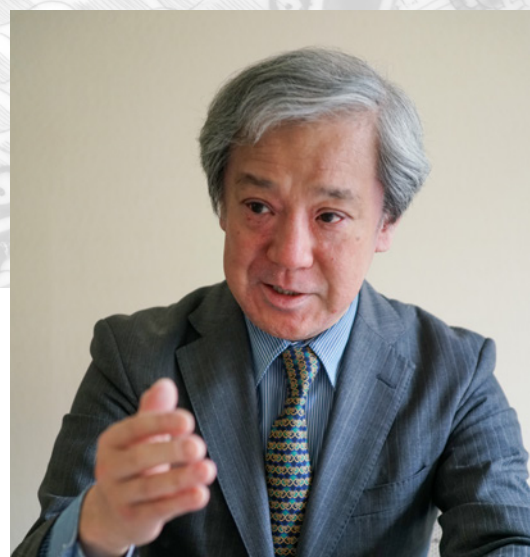
定員 | 110名 (事前申込制、先着順)

参加費 | 無料 (ただし本展観覧券の半券が必要です。)

※ 詳細は裏面をご覧ください。

左：宮本屋窯 《結蟹楼に双鳳図四方徳利》江戸時代後期（19世紀）個人蔵

右：宮本屋窯 《雲龍図木瓜形蓋置》江戸時代後期（19世紀）個人蔵



講師プロフィール

今井敦 IMAI Atsushi

東京国立博物館特任研究員、本展監修者

1987年、東京大学大学院人文科学研究科美術史学修了。1987年より東京国立博物館研究員、文化庁文化財部美術学芸課主任文化財調査官、東京国立博物館学芸研究部調査研究課課長などを歴任し、2022年より現職。中国陶磁や日本陶磁の展覧会を数多く企画し、著書に『宋・元の青磁・白磁と古瀬戸』（至文堂、2000）、『中国の陶磁④青磁』（平凡社、1997）など。



土と語る、森の中の美術館

兵庫陶芸美術館

The Museum of Ceramic Art, Hyogo



宮本屋窯 《牡丹獅子に十二支図鉢》(部分)
江戸時代後期(19世紀) 個人蔵

特別展「九谷赤絵の極致 宮本屋窯と飯田屋八郎右衛門の世界」関連事業
記念講演会「九谷赤絵の魅力 —中国の赤絵と比較して」

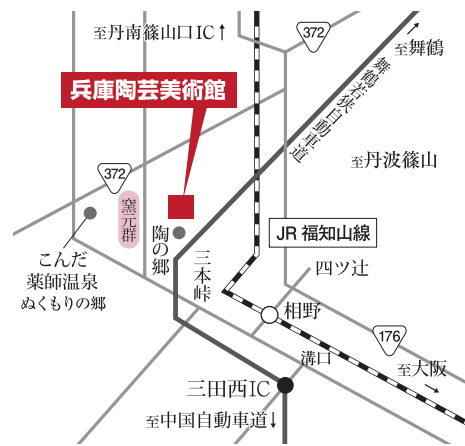
講師 | 今井敦氏 (東京国立博物館特任研究員、本展監修者)
日時 | 2024年9月14日(土) 13:30 ~ 15:00
会場 | 兵庫陶芸美術館研修棟1階 セミナー室
定員 | 110名 (事前申込制、先着順)
参加費 | 無料 (ただし本展観覧券の半券が必要です。)

《お申し込み方法》 ご参加には事前にお申し込みが必要です。
1 WEB … 当館ホームページからお申し込み下さい。
2 FAX … チラシ下部の参加申込書に必要事項をご記入のうえ、
下記お申込み先へお送り下さい。
3 電話 … 下記お申込み先へお電話ください。
※ お申込み後に人数変更・キャンセルされる場合は、必ずご連絡ください。

【お申込み・お問合わせ先】

兵庫陶芸美術館 学芸課
〒669-2135
兵庫県丹波篠山市今田町上立杭4
TEL 079-597-3965 FAX 079-597-3967
HP <https://www.mcart.jp>

ACCESS



交通のご案内

鉄道・バスをご利用の場合

- JR福知山線「相野駅」下車 (大阪駅から約50分)
駅前からウイング神姫(路線バス)「兵庫陶芸美術館」「こんだ薬師温泉」または「清水寺」行き乗車約15分、「兵庫陶芸美術館」下車
※相野駅発バス時刻は当館ホームページでご確認ください。

自動車をご利用の場合

- 舞鶴若狹自動車道「三田西IC」から約15分、または「丹南篠山IC」から約20分
- 中国自動車道「滝野社IC」から国道372号を東へ約30分
- 阪神方面から国道176号を北上し、三田市四ツ辻交差点を左折約15分
- 駐車場無料(敷地内 普通車58台分)、大型可

その他

- 無料貸出有(車椅子4台 ベビーカー2台)

参加申込書 | 2024年9月14日(土) 記念講演会「九谷赤絵の魅力 —中国の赤絵と比較して」

FAX : 079-597-3967

*お申込み時に記入された連絡先(電話・FAX・メールのいずれか)にお知らせしますので、必ず日中に連絡のとりやすい連絡先を、お間違いのないようご記入ください。

ふりがな 氏名	* 必須	申込人数	* 必須	住所 (市区町村まで)	* 必須
連絡先	TEL - -	FAX - -	* FAXでお申込みの方は必須	都道府県	市区町村

【個人情報の取扱い】 本参加申込に係る個人情報は、お客様への「当館からの連絡・お知らせ」以外の目的には使用しません。